

# press release

## 新型コロナウイルス感染症対策に向けた支援について

2020年5月12日 - [東京、日本] スタンダードチャータード銀行東京支店(在日代表兼最高経営責任者:竹内靖典)は、新型コロナウイルス感染症対策への対応に尽力されている団体への支援を目的としてこの度、公益財団法人日本財団(「日本財団」)が実施する新型コロナウイルス対策施設プロジェクトならびに一般財団法人あしなが育英会(「あしなが育英会」)の新型コロナ対応遺児の生活と教育緊急支援金に合計1千万円を寄付いたしましたのでお知らせします。

日本財団が実施する新型コロナウイルス対策施設(船の科学館・日本財団パラアリーナ等)では、医療従事者がケアをしやすく、患者の方々の住環境にも配慮した施設とするべく整備を進められています。また、あしなが育英会では、新型コロナウイルスの感染拡大によって減収し、毎日の生活に困っている遺児家庭を支援するため、緊急支援金の給付を決定されました。

スタンダードチャータードグループは2020年4月1日に新型コロナウイルスパンデミックのもと、支援が必要なコミュニティに対し、5千万ドルの支援金(「Covid-19 Global Charitable Fund」)を拠出することを発表しました。この支援金はグループの59マーケットで支援が必要なコミュニティへ短期的ならびに中長期的な支援の2段階で拠出していきます。これまでに、グループは第一段階として赤十字社と国際連合児童基金(ユニセフ)へそれぞれ5百万ドルの支援を表明しています。さらに1千5百万ドルをグループの4地域(ASEAN・南アジア、欧米、アフリカ・中東、中華圏・北アジア)において各地域の非営利団体(NGO)を支援していく予定です。第二段階では、経済回復と生計保護の支援を中心に新型コロナ

ナウィルスの影響が大きかったコミュニティへ雇用の確保や教育機会の継続等、長期的支援を視野に取り組んでいく予定です。

弊行在日代表兼最高経営責任者の竹内靖典は今回の支援について次のようにコメントしています。

「スタンダードチャータードがブランド理念として掲げる Here for good は、長期的な視野で地域コミュニティの発展に貢献することを表しています。新型コロナウイルスの感染拡大によって、全世界でさまざまな危機に直面しており、我々のグローバルな支援活動の一環として、日本国内における支援を実施させていただきました。一日でも早い感染拡大の収束と社会経済活動の回復に向け、弊行として引き続き貢献してまいります。」

本件に関するお問い合わせ：  
スタンダードチャータード銀行  
広報部

Tel: 03-5511-1245

[CA.Japan@sc.com](mailto:CA.Japan@sc.com)

---

#### スタンダードチャータードについて

スタンダードチャータードは、世界で最もダイナミックな市場を含む、59 の拠点を有し、85 の国・地域にてサービスを展開しております。私たちは、当行グループの特色である豊かな多様性を通じてビジネスに貢献することを目指しています。ブランドプロミスである「Here for good」は、グループが培ってきた伝統と私たちが重視するバリューを反映しています。スタンダードチャータード PLC は、ロンドン証券取引所、香港証券取引所、ボンベイ証券取引所、およびインド国立証券取引所に上場していません。

当行グループが提供する情報やエキスパートによるオピニオン等はグローバルウェブサイト([sc.com](https://www.sc.com))上の **Insights** ページをご覧ください。また、[Twitter](#) / [Linkedin](#) / [Instagram](#) / [Facebook](#) においても情報を発信しています。

#### 日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した 1880 年にさかのぼり、今年で 140 年目を迎えます。アジア・アフリカ・中東地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。